

## 計画の実現に向けて

都市計画マスタープランがめざすべき将来像「人と自然が共生する 躍動と創造の都市」を実現するためには、次の3つの柱を中心とした推進方策を総合的にすすめていきます。

### ○住民自治による協働のまちづくり

- ・地域協議会の設置や地域住民と行政の役割分担などによる「市民と行政の協働によるまちづくり」
- ・住民自治活動や組織発足への支援や地域リーダー育成などによる「地域主体のまちづくり」

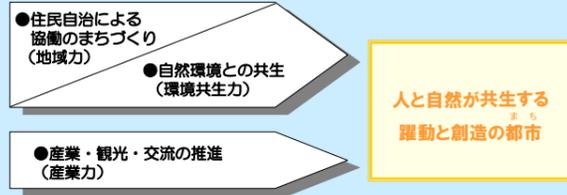
### ○自然環境との共生

- ・住環境整備や市街地整備などによる「拡散から集約のまちづくり」
- ・自然の保護・育成への意識啓発や、自然環境を見守る体制の充実などによる「自然環境の保全と活用」

### ○産業・観光・交流の推進

- ・企業誘致や新規創業への支援、農業の担い手育成などによる「魅力ある働く場の創出」
- ・観光・レクリエーション拠点整備や観光ルート整備、観光情報発信による「観光・交流の活性化」

### 計画の実現・推進のイメージ



## 計画の策定経緯とこれからの進め方

都市計画マスタープランは、平成 17 年度の基礎調査からスタートし、平成 22 年度に策定いたしました。今後は、上位計画である総合発展計画の改訂と合わせた定期的な見直しを行っていきます。

年度	都市計画マスタープラン策定経緯	関連調査計画等の動向
H17年度	○1市7町による合併・新市「由利本荘市」誕生	○「由利本荘市総合発展計画」策定
H18年度	●基礎的調査 ●市民意向調査 ●プロジェクト進捗調査(行政担当当局)	○「秋田県都市計画指導調査」実施
H19年度	●課題抽出・将来像・整備方針の検討	
H20年度	●都市計画マスタープラン(素案)の検討	
H21年度	●策定委員会開催(3回) ●地域別住民懇談会開催(4地区:本荘・矢島・西目・大内)	○由利本荘市定住自立圏形成方針/H21.9
H22年度	●「由利本荘市都市計画マスタープラン ~人と自然が共生する躍動と創造の都市~」策定	

### 今後の検討課題

- 現在の社会経済情勢や最新の将来予想に基づく都市計画道路の見直し検討を進めます。
- 都市計画道路の見直しや将来人口等を考慮し、用途地域のあり方を検討し、現在の地域指定の見直しを進めます。
- 西目地域と大内地域について都市計画区域の拡大に伴う検討を進めます。

### 【都市計画マスタープランに関するお問い合わせは】

由利本荘市建設部都市計画課  
TEL : 0184-24-6332 FAX : 0184-24-1599 E-mail : toshi@city.yurihonjo.akita.jp

# 由利本荘市都市計画マスタープラン

一人と自然が共生する 躍動と創造の都市

## 都市計画マスタープランの目的

都市計画マスタープランは、由利本荘市のまちづくりの指針として次のような視点で策定するものです。

- 新生・由利本荘市の最初の都市計画マスタープランとして、市主体の都市計画の長期的な基本方針を示します。
- まちづくりを具体化していく手段としての都市計画の役割を明確にします。
- 由利本荘市の都市計画をまちづくりの観点から総合的に示します。
- 市民の方の意向を反映させると共に、市民にとってわかりやすい都市計画を描きます。

## 計画の対象区域

### 全体構想

都市計画区域を原則とし、必要に応じて市域全体を対象区域とします。

### 地域別構想

既存の都市計画区域に加えて「平成18年度秋田県都市計画指導調査(秋田県)」をもとに、都市計画の拡大想定地域に位置付けられた地域を対象とします。

## 計画の目標年

平成 42 年 (西暦 2030 年)

本計画の策定時点から概ね 20 年後の目指すべき将来都市像を描きます。

## まちづくりの基本理念と将来像

### 基本理念

- 人と豊かな自然がつなぐ、健やかで創造性あふれるまち
- 交流とにぎわいに支えられて、生き活きと躍動するまち
- 住民自治と協働の精神に基づいた、可能性豊かで自立したまち

### 将来像

人と自然が共生する 躍動と創造の都市

### (将来フレーム/H42・2030年)

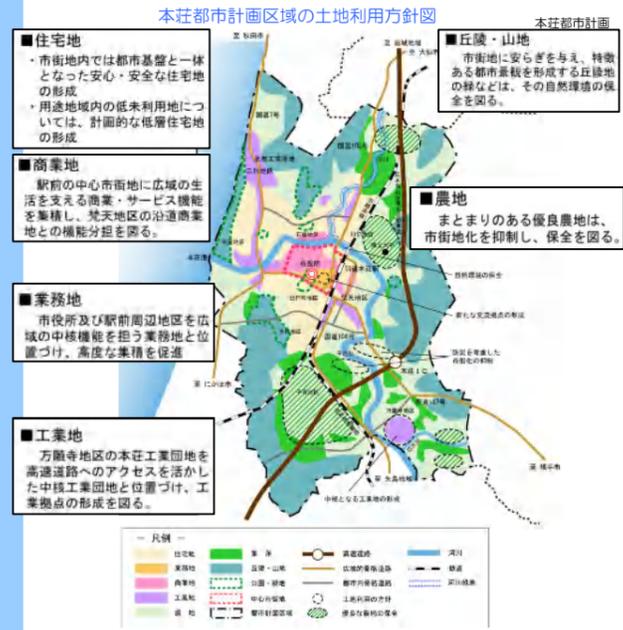
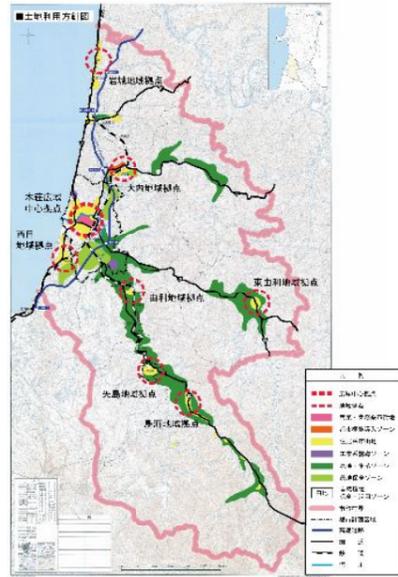
将来人口 : 65,000 人  
就業人口 : 33,000 人

# 全体構想

- 地域に開かれた住民自治のまちづくり
- 活力とにぎわいのあるまちづくり
- 恵まれた自然とやすらぎのある環境共生のまちづくり
- 心ふれあう情報と交流のまち

## 【土地利用】

- 都市計画区域、地域地区制度などの適切な運用により良好な地域環境の形成に向け秩序ある土地利用を誘導し、魅力ある都市空間の実現をめざします。
- 都市計画区域については、土地利用の現状を踏まえ、現行の都市計画区域の見直しを検討します。
- 少子高齢化、人口減少時代に対応した集約型の土地利用を目指し、自然環境や農林地の保全などに配慮した土地利用を図ります。
- 日本海沿岸東北自動車道のI.C.周辺などでは、地域産業の活性化や広域交流の促進など由利本荘市の活性化に寄与するような土地利用の誘導を図ります。



## 【道路・交通体系】

- 各地域拠点を結び本市の都市構造を支える軸線としての役割を担う主要幹線道路の整備・機能強化を図ります。
- 日本海沿岸東北自動車道の本荘I.C.の供用開始を契機とする高速交通体系の整備促進に努めます。
- 市道などの生活関連道路は、車中心の道づくりから人と共存する道づくりをめざします。
- 全ての市民が市内を円滑に移動し、都市活動を可能とする公共交通機関の整備充実を図ります。



## 【市街地整備】



- 将来都市像の実現に向けて、都市拠点の形成を図る地域について、周辺の土地利用や道路、公園等の都市施設に関する都市計画との整合を確保しつつ、整備を図ります。
- 良好な市街地環境を形成するために、必要に応じて土地区画整理事業や市街地再開発事業を都市計画で定め、計画的に整備を進めます。
- 羽後本荘駅前周辺地区は、本市の玄関口、顔となる地区にふさわしい整備を図ります。

## 【都市施設】

- 人口減少時代を踏まえ、今後の需要見通しや整備効果について十分に検討し、計画的な整備を進めます。
- 都市施設の老朽化に伴う更新や管理運営にあたっては、求められる機能や役割を十分に検討した上で、民間活力の導入など、総合的なコスト削減を図ります。
- 街区公園など市民の身近な都市施設については、市民との協働による維持管理の実現をめざします。
- ユニバーサルデザインの視点や、周辺環境に配慮した都市施設の整備をめざします。

## 【情報・通信基盤整備】

- 行政区画が広大で個性ある地域拠点が分散立地する特性を踏まえ、生活の利便性の向上や産業経済の振興、さらには地域間連携の強化、地域間格差の解消、一体性の確立などのために、全市的に誰もが活用できる情報・通信基盤の整備をめざします。
- 行政情報の公開、市民と行政双方向による情報ネットワーク構築、情報共有化により、誰もが市政に参加できる高度な情報・通信基盤の整備をめざします。
- 公共公益施設の整備、改修等と連携した情報・通信基盤の整備を進め、学校教育や生涯学習など情報教育の充実を図ります。

## 【景観と自然環境の保全・活用】

- 恵まれた自然環境と調和し、由利本荘市の気候風土や地域の歴史・文化に根ざした住景観・街なみ景観づくりをすすめます。
- 豊かだがかけがえのない自然環境を後世へ引き継いでいくために、自然保護に努めるとともに、そのための活動をすすめます。
- 自然条件に適した風力や天然ガスなどの自然エネルギーを活用し、地球環境問題への取り組みや持続可能なまちづくりに努めます。
- 森林が有する多面的な機能を認識し、長期的視野に立って豊かな森林の保全・育成と活用を図ります。

# 地域別構想

地域別構想では、「既存の都市計画区域（本荘・矢島）」に加えて「都市計画の拡大が想定される地域に位置付けられた地域（大内・西目）」を対象としました。  
以下に各地域のまちづくりのテーマを示します。

### 本荘市街地中部地区

本市の「玄関」・「顔」としての魅力ある都市空間の創出

### 本荘市街地梵天地区

質の高い居住環境を有する活力あるまちの創出

### 本荘市街地南部地区

緑と福祉・ゆとりとやすらぎのまちづくり

### 本荘市街地北部地区

歴史と観光資源を活かしたときめきの創出

### 本荘市街地東部地区

本荘I.C.のまちづくりへの活用と優良農地の保全

### 矢島市街地地区

鳥海山の麓、自然と歴史に包まれた交流文化都市の形成

### 大内地域

新たな都市機能の集積と良好な居住環境の整備

### 西目地域

活力と若さあふれる定住拠点の創出